

# 越冬キャベツ… I

担当者 技能研究員 太田和成

試験課題名	品種系統選定試験
目的	11月どり品種系統の栽培特性と貯蔵性を比較検討し普及に資する
期待される成果	優良品種の導入により、生産の安定と経済性の向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会キャベツ部会

## 1 供試品種・資材

品種

※ 冬 駒 (タキイ) 湖 月 S P (タキイ) 夢 舞 台 (タキイ)  
四 季 穫 (タキイ) 一 号 (タキイ) YR 天 空 (タキイ)  
※基準品種

## 2 耕種概要

土 壤 ~ 灰色低地土(埴壤土)

前 作 ~ ばれいしょ

播 種 日 ~ 6月18日 定 植 日 ~ 7月19日 収 穫 日 ~ 11月6日

栽 植 密 度 ~ 畦幅60cm×株間45cm 3,703株/10a当たり

## 3 土壌診断結果と施肥量

### (1) 土壌診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	CaO	熱水抽出N
6.02	0.043	28.2	38.3	53.7	560.2	5.0

### (2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

炭 カ ル ~ 210kg

堆 肥 ~ 1,000kg

### (3) 施肥内容 (成分量/%)

基 肥 ~ BBS611号 (21.0 - 11.0 - 11.0 - 2.0) 7月17日 全層施肥

基 肥 ~ 粒状過磷酸石灰 ( 0 - 18.0 - 0 ) 7月17日 全層施肥

分 肥 ~ 硫酸アンモニア (21.0 - 0 - 0 ) 8月25日 条間施肥

分 肥 ~ 硫酸加里 ( 0 - 0 - 50.0 ) 8月25日 条間施肥

### (4) 肥料の要素量

(kg/10a)

			N	P	K	Mg
基 肥	BBS611号	100.0kg	16.0	11.0	11.0	2.0
基 肥	粒状過磷酸石灰	16.6kg	-	3.0	-	-
分 肥	硫酸アンモニア	28.6kg	6.0	-	-	-
分 肥	硫酸加里	10.0kg	-	-	5.0	-
合 計			22.0	14.0	16.0	2.0

## 4 調査項目

生 育 調 査 ~ 播種日・発芽期・発芽率・定植日・定植時の苗質・結球期

収 量 調 査 ~ 総重量・調整重・調整率・調整収量・慣行比・規格内割合・障害

特 性 調 査 ~ しまり・球径・球高・緑色・球形指数・硬さ・甘さ・総合評価・糖度 (Brix)

枯 れ 葉 調 査 ~ 収穫時・1月中旬・2月中旬

## 5 生育調査

項目		品種	冬駒	湖月SP	夢舞台	四季穫	一号	YR天空
播 種 日	6月18日							
発 芽 期	6月22日							
発 芽 率 (%)	99.2	100	100	96.9	96.9	95.3		
定 植 日	7月19日							
定植時の苗質	葉 数 (枚)	3.2	3.9	3.0	3.3	3.1	3.9	
	葉 長 (cm)	5.4	6.1	6.6	6.6	5.7	5.8	
結 球 期	8月23日	8月22日	8月21日	8月22日	8月19日	8月17日		

## 6 収量調査

項目		品種	冬駒	湖月SP	夢舞台	四季穫	一号	YR天空
総 重 量 (kg/ 球)	<b>2.4</b> <b>2.7</b> <b>2.3</b> <b>2.5</b> -    -							
調 整 重 (kg/ 球)	1.7    2.0    1.5    1.7    -    -							
調 整 率 (%)	<b>68.8</b> <b>71.5</b> <b>67.4</b> <b>70.3</b> -    -							
調 整 収 量 (kg/10a)	<b>6,240</b> <b>7,254</b> <b>5,736</b> <b>6,391</b> -    -							
慣 行 比 (%)	100    116    92    102    -    -							
規格別割合 (%)	3 玉	0	0	0	0	-	-	
	4 玉	0	10	0	0	-	-	
	5 玉	5	20	5	15	-	-	
	6 玉	45	55	40	35	-	-	
	7 玉 ~ 8 玉	50	10	45	45	-	-	
	9 玉 ~ 10 玉	0	5	10	5	-	-	
障 害 (球)	病 害 虫	3	3	3	3	-	-	
	障 害 球	0	0	0	0	-	-	

※規格 3玉 3.4kg以上 4玉 2.5~3.3kg 5玉 2.0~2.4kg 6玉 1.7~1.9kg 7~8玉 1.3~1.6kg 9~10玉 0.9~1.2kg

※病害虫(無0~有5)・障害球(良0~不良5)

## 7 特性調査

項目		品種	冬駒	湖月SP	夢舞台	四季穫	一号	YR天空
外 観	緑色(良5~不良1)	3.0	2.8	2.8	3.0	-	-	
	しまり(良5~不良1)	3.0	3.0	2.7	3.2	-	-	
	球 径 (cm)	18.6	19.1	19.8	18.2	-	-	
	球 高 (cm)	13.0	13.8	11.9	14.7	-	-	
	球 形 指 数 (%)	70.0	72.3	60.0	80.5	-	-	
食 味	硬さ(良5~不良1)	3.0	2.7	2.5	2.2	2.3	2.5	
	甘さ(良5~不良1)	3.0	2.7	2.8	3.4	2.3	2.8	
	総合評価(良5~不良1)	3.0	2.9	2.5	2.4	2.4	2.6	
11月7日 調 査	枯れ葉	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	-	-	
	糖度(Brix)	6.7	6.0	5.8	7.2	-	-	
1月 調 査	枯れ葉	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	
	糖度(Brix)	7.6	7.2	5.8	7.5	6.3	7.1	
2月 調 査	枯れ葉	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	
	糖度(Brix)	6.7	6.5	6.4	6.7	5.3	6.6	

※枯れ葉(多3~少1~無0) 枯れ葉の0は脈害

## 8 病害虫防除履歴

殺虫剤			殺菌剤		
7月18日	ダイアジノン粒剤5	4kg			
7月19日	プレバソンフロアブル5	100倍	7月19日	オラクル顆粒水和剤	200倍
8月22日	アフーム乳剤	1,000倍			
8月31日	オルトラン水和剤	1,000倍	8月31日	Zボルドー	500倍
9月14日	ペイオフME液剤	1,000倍	9月14日	スミレックス水和剤	2,000倍
10月22日	オルトラン水和剤	1,000倍	10月22日	トップジンM水和剤	1,000倍

## 9 試験結果概要

### (1) 生育経過

6月18日、128穴セル成型トレーにプラグエースを充填し、播種を行った。6月22日に全品種が発芽期となった。発芽率は、湖月SPと夢舞台が100%で最も高く、その他の品種も95%以上で良好であった。

全品種、平均的に育苗し、7月19日に定植を行った。定植時の苗質調査では、葉数3.0枚～3.9枚、葉長が5.4cm～6.6cmとなった。結球期はYR天空が8月17日で最も早く、冬駒が8月23日で最も遅くなった。追肥の翌日、大雨によって畑が冠水、さらに10月の断続的な雨で小玉傾向となった。

10月中旬にYR天空、10月下旬に一号が裂球し、収穫はわずかになった。

### (2) 収量調査結果

収穫は11月6日に行った。一号とYR天空は、裂球によって収穫調査はできなかった。調整収量は、基準品種の冬駒が6,240kg/10aとなった。湖月SPが最も多く、7,254kg/10a、夢舞台が最も少なく、5,736kg/10a、四季穫が6,391kg/10aとなった。

規格割合で見ると、全品種で6玉～8玉の割合が半数以上となった。

防除の遅れで虫害が多くなった。また、べと病や菌核病も散見された。

### (3) 特性調査結果

外観の緑色は、四季穫が3.0と冬駒と同程度、湖月SPと夢舞台が2.8で冬駒を下回った。

しまりは、四季穫が3.2で最も良く、夢舞台が2.7で冬駒を下回った。

球形指数は、四季穫が80.5で最も高く、正円形のキャベツとなった。夢舞台は、最も低く、60.0と扁平のキャベツとなった。

1月9日に食味調査を行って、四季穫が基準の冬駒より甘い結果となった。総合評価では、基準を上回る品種はなかった。

枯れ葉は、収穫時に見られなかった。1月9日は、湖月SP以外の品種で枯れ葉が見られた。2月6日は冬駒、湖月SP、YR天空で見られたが、1月の調査より、発生量も少なかった。

### (4) 考察

10a当たりの調整収量は、昨年度と比較すると湖月SPが減収し、冬駒が同程度となった。規格割合は、昨年度より小玉中心で6玉～8玉が多くなった。今年度は、結球期頃の大雨で畑が冠水したため、生育が停滞したと考えられる。また、追肥の翌日だったため、窒素成分も流れてしまったと考えられる。そして、冠水による根傷みが起こり、枯れ葉が発生したと考えられる。1月の調査より、2月の調査で枯れ葉が少なかったのは、圃場の排水性の違いだと考えられる。

一号とYR天空は、生育が早かったため、裂球したと考えられる。そのため、播種時期を遅くすることで、栽培は可能だが、貯蔵中、葉の傷みが多かったため、越冬品種としては向かないと考えられる。

夢舞台は、収量性も低く、枯れ葉もあり、貯蔵性も良くないため、優良品種としては、向かない。

四季穫は、冬駒並の収量で、貯蔵性が良かったが、1月の調査で枯れ葉が見られた。しかし、2月の調査では、枯れ葉が見られなかった。そのため、来年度も試験を継続し、枯れ葉の有無を確認し、優良品種か検討する。

最後に今年度は、防除が適期に行えなかった時期があった。そのため来年度は、適期に防除を